

## 2021年度 京都芸術大学附属高等学校 自己評価

教育目的	「想像力」と「創造力」を理念とした教育活動を通じて自己効力感を育み、 自己の未来に対して自信をもってチャレンジできる生徒の育成を目的とする。
2021年度重点課題	I 本校独自の学習支援の確立を目指したカリキュラム・授業スタイルの改善 II 業務分掌による生徒支援及び運営業務の改善 III 収容定員を見据えた募集活動

評価基準	S	重点目標を、基準を越えて達成した
	A	重点目標を達成した
	B	重点目標の基準に達することはできなかった
	C	その他目標の変更・中止等

課題項目	重点目標	達成基準	取り組み	担当	評価																																			
I 本校独自の学習支援の確立を目指したカリキュラム・授業スタイルの改善	1.1・2年目の運営の振り返りに基づくカリキュラム内容の変更と改善	1) 担任科目の設置、導入 2) 冬期講座の開催および内容の充実 3) 定期的なF D研修の開催	1) 担任科目のプログラム作成。 2) 冬期講座では学び直し・発展および探究（知的好奇心をくすぐるもの）が開講する。 3) F D研修で担任科目をレクチャーおよび振り返りを行う。	教務部	A	1) 担任科目「総合」を予定通りスタート。 2) 冬期講座実施 3) 毎週火曜日に勉強会を実施																																		
	2.1年次夏休みまでの学び直しプログラム導入による基礎学力の担保	中高接続プログラムが全科目導入実施されること	F D研修を行い、教員に目的内容の共有。教科会で実施内容の検討、導入実施を行う。	教務部	A	・各教科授業内での振り返り授業の導入 ・次年度に向けて、ITCを活用した「すらら」の導入を決定。（主要3教科基礎科目）																																		
	3.スクーリング及びレポートのクリア率の向上	2019年度より各1%増を目指す。 S 83% R 78% 単位取得率72% 参考) 2019年度 S81.8% R77.0% 単位取得70.4%	・R S Tを関連させていく。 ・授業（S）では、レポートの類似問題を行う。 ・レポートと単位認定試験は連動させ、出題する。 ・各教科で試験対策実施。	教務部	S	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2021</td> <td style="text-align: center;">2020</td> <td style="text-align: center;">2019</td> </tr> <tr> <td>Sクリア率</td> <td style="text-align: center;">98.1%</td> <td style="text-align: center;">← 95.6%</td> <td style="text-align: center;">← 81.6%</td> </tr> <tr> <td>Rクリア率</td> <td style="text-align: center;">98.5%</td> <td style="text-align: center;">← 91.3%</td> <td style="text-align: center;">← 77.0%</td> </tr> <tr> <td>単位取得率</td> <td style="text-align: center;">95.1%</td> <td style="text-align: center;">← 90.7%</td> <td style="text-align: center;">← 71.5%</td> </tr> </table>			2021	2020	2019	Sクリア率	98.1%	← 95.6%	← 81.6%	Rクリア率	98.5%	← 91.3%	← 77.0%	単位取得率	95.1%	← 90.7%	← 71.5%																	
		2021	2020	2019																																				
Sクリア率	98.1%	← 95.6%	← 81.6%																																					
Rクリア率	98.5%	← 91.3%	← 77.0%																																					
単位取得率	95.1%	← 90.7%	← 71.5%																																					
4.大学連携科目の運営方法の改善	プロフェッショナル科目のSRクリア率、単位取得率、履修率の数値を2020年度以上。 参考) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2019</td> <td style="text-align: center;">2020</td> </tr> <tr> <td>履修率</td> <td style="text-align: center;">68.8%</td> <td style="text-align: center;">67.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(平均1.48科目)</td> <td style="text-align: center;">(平均1.60科目)</td> </tr> <tr> <td>Sクリア率</td> <td style="text-align: center;">70.2%</td> <td style="text-align: center;">89.5%</td> </tr> <tr> <td>Rクリア率</td> <td style="text-align: center;">63.4%</td> <td style="text-align: center;">84.7%</td> </tr> <tr> <td>単位取得率</td> <td style="text-align: center;">62.3%</td> <td style="text-align: center;">82.1%</td> </tr> </table>		2019	2020	履修率	68.8%	67.3%		(平均1.48科目)	(平均1.60科目)	Sクリア率	70.2%	89.5%	Rクリア率	63.4%	84.7%	単位取得率	62.3%	82.1%	・大学連携科目（プロフェッショナル科目）で生徒に学んでほしい/伝えてほしいポイントの明確化。 ・本校教員と大学講師が連携した授業づくり。 ・クラス担任が中心となった、大学連携科目の意図や魅力を啓蒙する日々の指導。	進路部	A	履修率67.9% （平均1.59科目） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2021</td> <td style="text-align: center;">2020</td> <td style="text-align: center;">2019</td> </tr> <tr> <td>Sクリア率</td> <td style="text-align: center;">96.6%</td> <td style="text-align: center;">← 89.5%</td> <td style="text-align: center;">← 70.2%</td> </tr> <tr> <td>Rクリア率</td> <td style="text-align: center;">96.2%</td> <td style="text-align: center;">← 84.7%</td> <td style="text-align: center;">← 63.4%</td> </tr> <tr> <td>単位取得率</td> <td style="text-align: center;">95.9%</td> <td style="text-align: center;">← 82.1%</td> <td style="text-align: center;">← 62.3%</td> </tr> </table>			2021	2020	2019	Sクリア率	96.6%	← 89.5%	← 70.2%	Rクリア率	96.2%	← 84.7%	← 63.4%	単位取得率	95.9%	← 82.1%	← 62.3%
	2019	2020																																						
履修率	68.8%	67.3%																																						
	(平均1.48科目)	(平均1.60科目)																																						
Sクリア率	70.2%	89.5%																																						
Rクリア率	63.4%	84.7%																																						
単位取得率	62.3%	82.1%																																						
	2021	2020	2019																																					
Sクリア率	96.6%	← 89.5%	← 70.2%																																					
Rクリア率	96.2%	← 84.7%	← 63.4%																																					
単位取得率	95.9%	← 82.1%	← 62.3%																																					
II 業務分掌による生徒支援及び運営業務の改善	5.完成年度における目標進路決定率の達成及び進路支援の確立	3年生進路決定率90%	・面談等による、適正進路の選択に向けた指導。 ・「進路の手引き」に基づいた進路支援。 ※3者連携（生徒/保護者/担任）の後方的支援。 ・進路関連行事の充実化。 ・進路関連情報の提供。	進路部	S	進路決定率93.1% 卒業生 131人 大短73人 専門学校等38人 就職4人 自営・家業等7人 等																																		
	6.生徒の学校生活に対する意欲向上につながる教育の実現	1) 進級率及び離籍率の数値を2020年度より向上・低減させる。 参考) 2020年度 進級・卒業率87.9% 離籍率4.8% 2) 学校行事参加率の数値を2019年度より向上させる 参考) 2019年度参加率81%	1) 年度末までに継続的に ・「総合」の授業で、自己肯定感等が高まる環境づくりを通じた、何事にも前向きに取り組めるマインドの醸成。 ・SNS関係の啓蒙活動、HRを実施する。 2) 学校生活が楽しいと実感できる行事の企画。 ・文化祭や同好会企画イベントの場所提供や告知等の支援。 ・生徒の知的好奇心や協働力が伸長するような指導。	進路部 生徒部	A  C	1) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2021</td> <td style="text-align: center;">2020</td> <td style="text-align: center;">2019</td> </tr> <tr> <td>進級・卒業率</td> <td style="text-align: center;">94.9%</td> <td style="text-align: center;">← 87.9%</td> <td style="text-align: center;">← 84.7%</td> </tr> <tr> <td>離籍率</td> <td style="text-align: center;">3.8%</td> <td style="text-align: center;">← 4.8%</td> <td style="text-align: center;">← 9.7%</td> </tr> </table> 2) 学校行事については、コロナ禍の為、9月新入生歓迎イベント・2月の文化祭のみ			2021	2020	2019	進級・卒業率	94.9%	← 87.9%	← 84.7%	離籍率	3.8%	← 4.8%	← 9.7%																					
	2021	2020	2019																																					
進級・卒業率	94.9%	← 87.9%	← 84.7%																																					
離籍率	3.8%	← 4.8%	← 9.7%																																					

7.前年度判定結果に基づく学納金請求への移行による保護者の経済的負担の軽減	<p>前期学納金からの返金率を全校生徒の15%にする。</p> <p>参考) 学納金返金率 2019 37.2% 2020 34.2% (コロナ対応していなければ39%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返金対象者の内、“加算あり”判定の世帯 2019 97% 2020 92%</li> <li>・判定結果が“加算あり”→“加算なし”以上に動いた方は 2019から在籍している生徒のうち8名 2020から在籍している生徒のうち7名</li> </ul> <p>⇒年度当初に支援金を加味した場合でも追徴のリスクは低い</p>	<p>【在校生】 前期学納金請求時に、前年度の就学支援金判定が“加算あり”である生徒は全て支援金想定額を加味した金額にする ⇒在校生の返金者は前年度“加算なし”判定の数名のみとする</p> <p>【新入生】 生活保護受給証明書・非課税証明書を提出いただいた生徒は前期学納金請求時に支援金想定額を加味した金額にする ⇒判定の相違による徴収漏れ等を起こさないように、新入生においては支援金額が満額であることが確実な世帯のみを対象とする</p>	事務局	A	<p>返金率：17.6%</p> <p>*本年度入学生は事前に学費に支援金を充当させることができる低所得者の割合が低く、結果的に返金率が設定値よりあがってしまったが、負担を軽減するという点での対応としては適正であったと捉えている。</p>
8.各種システム改善による業務改善	<p>1) ルーティーン業務の省力化</p> <p>2) 生徒学習進度の逐次把握を可能とする</p>	<p>1) RPA及びAI-OCRシステムを導入し、手作業で行っている作業の自動化を図る 対象業務：支援金処理・願書処理・履修登録・IR</p> <p>2) スクールエンジン（校務支援システム）において、主にレポート登録に関する改修を行い、人為的な入力ミスの低減及び学習震度表への即日反映</p>	事務局	B	<p>1) ・願書処理・学校説明会アンケート入力等多くの作業をOCRに変更。 *OCR化については大幅な省力化となったが、RPAについては、操作性が低く、一部の導入に留まる</p> <p>2) ・レポート業務の一部をRPA及びOCR化にトライアルしたが、テクニカルな課題が判明し、2021年度度は未実施。</p>
III 収容定員を見据えた募集活動	9..安心して学べ、実績を出せる高校としてのブランドの構築	<p>1) 各種ツールの改変 学校案内、HP、フォローツールの改変 動画の作成、ブログの定期更新 プレスリリースの定期的発信</p> <p>2) 説明会参加者の第一志望率を年間平均で60%にする</p> <p>3) 京都市内からの出願校数の増加</p>	事務局	A	<p>1) ・触接接触481人（中3 364人 高校生 117人）</p> <p>2) ・第一志望率 中3 47.5% 高校生 54.3% *出願率が、57.4%と大幅に上昇。</p> <p>3) 出願校数 2021 2020 2019 京都市内 56校 ← 33校 ← 46校 京都市外 23校 ← 14校 ← 12校</p>
10.2022年4月生徒数500名となる入学者の確保	<p>1) 2022年度4月入学者数 200名 1年180名(新卒160名、転入生20名)、 2年転入生20名 3年転入生若干名</p>	(上記活動の結果として)	事務局	A	<p>進捗度（100%） 2022年生徒数 522人 2022年4月入学者 221人 1年 202人（新入生194人、転編入8人） 2年 転編入 14人 3年 転編入 5人</p> <p>*想定以上の出願者となり、次年度は入試制度の変更を検討する</p>